

令和8年度静岡市協働パイロット事業 課題テーマ一覧

令和8年度協働パイロット事業では、計4件の課題テーマを提示します。

以下の内容をご確認いただき、静岡市の抱える課題解決のため、貴団体の力をお貸しください。

No. 1	課 題 テ ー マ
	男性特有の生きづらさの解消
現 状	<p>「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」というような男女の役割を分けて固定的に考える固定的な性別役割分担意識がいまだに根強く残っており、地域社会におけるジェンダーギャップが生じています。</p> <p>このような意識は、男性にとって「稼ぐ」「仕事優先」といった役割へのプレッシャーとなり、家事・育児参加への障壁となったり、悩みやストレスを抱え込む原因となっています。</p>
目 指 す 姿	<p>固定的な性別役割分担意識を解消することで、男性も女性も自身が望む生き方を叶えることができる社会を目指します。</p>
課 題 解 決 す べ き	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の生き方を縛る固定的な性別役割分担意識の解消 ・悩みやストレスを他者と共有することの、男性の心理的抵抗の解消
事 業 提 案 期 待 す る	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の生きづらさを解消するような 20 代～50 代の男性のための居場所の提供 ・地域社会(自治会や PTA)への固定的な性別役割分担意識の解消に向けた効果的なアプローチ ・とくに興味がない層への効果的なアプローチ
留 意 点 等	
問 合 せ 先	<p>担当課名:男女共同参画・人権政策課 男女共同参画・人権政策係</p> <p>電 話:054-221-1349</p> <p>メー ル:sankaku@city.shizuoka.lg.jp</p>

No. 2	課 題 テ ー マ ゲーミフィケーションを活用した子どもたちの学びの機会づくり
現 状	<p>近年の ICT の進展を背景に、デジタルを扱える人材の育成は重要な課題となっています。</p> <p>また本市では、ゲームなどエンターテインメントを含むデジタル産業の企業誘致を進めており、人材の裾野拡大は主要テーマです。</p> <p>市内の専門学校・大学等の選択肢は整いつつありますが、その手前段階では学校教育で ICT 活用は進んでいるものの、リテラシーの習得から、創造・制作や実践的な活用へ発展させるには、学校とは異なる学習機会が必要です。デジタルコンテンツ等を通して興味を持った子どもたちに対して、学びのきっかけとなる機会はまだまだ少なく敷居が高いのが現状です。</p>
目 指 す 姿	<p>子どもたちが、興味を学びにつなげるきっかけ(体験・学習・発表など)が身近にあり、学び続けられる仕組みを目指します。</p> <p>また、デジタルに関する学びだけでなく、コンテンツを通じてまちづくりやビジネスに関心を持つことで、シビックプライドの醸成や、進路・職業の選択に広がる学びとなることを目指します。</p>
課 題 解決すべき	<p>初学者や未経験者を含め、誰でも気軽に参加できるイベントや拠点の供給が限られていることに加え、こうした機会の周知や訴求力が弱く、情報が一部の関心層にしか届いていないことから、参加者の裾野が広がりにくいという課題があります。</p> <p>また、きっかけで終わらず、継続的な学びや地域連携を見据え、企業・自治体・学校・NPO がそれぞれ役割を持って関われる体制や運用の形を整えていく必要があります。</p>
事 業 提 案 期待する	<p>Minecraft 等を活用し、初学者が気軽に参加できる敷居の低い拠点・体験・イベントを開催する提案。</p> <p>作品づくりの過程や工夫点が見える化し、発表・展示の場で保護者や地域関係者が子どもの成長を実感できる仕掛けの提案。</p> <p>イベントや拠点情報が関心層に偏らず届くよう、学校・地域・企業等の導線を使った周知設計と参加者の裾野拡大策を含む提案。</p> <p>また、将来的に企業・自治体・学校・NPO が役割分担して運営できる体制の提案も期待します。</p>
留 意 点 等	
問 合 せ 先	<p>担 当 課 :DX推進課 地域デジタル化推進係</p> <p>電 話 :054-221-1341</p> <p>メー ル :morishita_cpb@city.shizuoka.lg.jp</p>

No.	課 題 テ ー マ
3	静岡市清水区庵原地区「ユニバーサルスポーツ聖地化」のブランド化に向けた取組
現 状	<p>静岡市では、庵原地区を年齢、性別、障がいの有無、国籍、競技レベルなどにかかわらず、その場にいる誰もがスポーツと一緒に楽しめる健常者と障がい者が共にスポーツに取り組む「ユニバーサルスポーツの聖地」とすることで、スポーツを通じた共生社会の実現を目指しています。</p>
目 指 す 姿	<p>ユニバーサルスポーツを清水庵原地区の特色として確立し、聖地化・ブランド化を図ることで、地域の魅力向上と共生社会の実現を目指します。</p>
課 題 解決すべき	<ul style="list-style-type: none"> ・認知度、ブランド力の不足 <p>庵原地区内外において、「庵原地区＝ユニバーサルスポーツの聖地」という認識や情報発信が十分に行われていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続性・地域巻き込みの不足 <p>イベントが単発で終わってしまい、地元企業・団体や地域住民を継続的に巻き込む仕組みが構築されていません。</p>
事 業 提 案 期待する	<ul style="list-style-type: none"> ・ロゴやキャッチコピー、限定グッズ等の開発 ・学生等と連携した静岡市オリジナルのニュースポーツの開発 ・ブランド化に向けた持続可能なイベントの企画・開催 ・誰もが取り組むことができ、市民に普及しやすい軽運動の提案 ・誰もが分かりやすい競技説明、運動方法等のパンフレット作成
留 意 点 等	<p>静岡市パラスポーツ協会が令和8年2月に発足するため、事業実施の際は、当該団体とも連携をしていただきたいです。</p>
問 合 せ 先	<p>担 当 課 : スポーツ振興課 企画係/市民スポーツ推進係</p> <p>電 話 : 054-221-1183</p> <p>メー ル : sports@city.shizuoka.lg.jp</p>

No. 4	課 題 テ ー マ 20 歳未満の者や子どもへの影響の大きい父母等の喫煙防止の啓発促進
現 状	<p>習慣的喫煙者は減少傾向であるものの、加熱式タバコへの移行もあり、児童生徒の受動喫煙の経験割合は高い状況です。(R4年度 中学生 46.9%高校生 63.6%：健康・食育に関する意識・生活アンケートより)</p> <p>現在、市はタバコ対策応援団(タバコに関する正しい知識を所有もしくは学び行政と協働する個人・団体)の協力を得て、約 80 校の市内小中高校向けに、喫煙防止教室を実施しています。当教室の目的は、児童生徒がタバコに関する知識を学び理解を深めることで、喫煙の低年齢化を防止し「生涯無煙の意識づくり」を目指すとともに、家族や地域社会へタバコの害を周知し受動喫煙を防ぐ意識啓発を図るというものです。毎年、教室実施を希望する学校数は減少せず、実施後のアンケートや教員の感想も高評価です。しかし、タバコ対策応援団として依頼する講師の新たな担い手不足により当教室の存続が懸念されています。</p>
目 指 す 姿	20 歳未満の者の喫煙防止と「生涯無煙の意識」の醸成が進み、また市民全体の喫煙率、及び受動喫煙の機会が低下する状態を目指します。
課 題 解 決 す べ き	児童・生徒への「喫煙防止教室」の実施について、現在の教育現場の状況を鑑み、持続可能でより実効性の高い実施方法の精査や、適切な講師を継続して確保できる体制を整備していく必要があります。
事 業 提 案 期 待 す る	<p>児童・生徒向けの「喫煙防止教室」の在り方を検討し、現在の教育現場の実情に合わせたより持続可能で実効性の高い実施方法、またそのための講師を継続的に確保できるような方法の提案を募集します。</p> <p>なお提案内容は、現在実施しているタバコ対策応援団と連携した取組としてください。</p>
留 意 点 等	
問 合 せ 先	<p>担 当 課：健康づくり推進課 保健指導係</p> <p>電 話：054-221-1376</p> <p>メー ル：shibayama_ceb@city.shizuoka.lg.jp</p>

「課題テーマ」のほかに、「自由テーマ」に関する事業も募集しています！

いずれのテーマを選択しても、採択に関する審査に影響はありません。

「自由テーマ」は、分野を問わず、提案団体の皆様に自由に社会的課題の解決のための協働事業を提案いただく部門です。